

ゼロプロの取組みが加速したきっかけは何でしたか？

令和 7 年度の最重要項目として「口腔ケアで入院を減らすこと」を掲げたことです。ゼロプロへの取組開始から施設全体の経過を見守っていたところ、職員の取組みの姿勢から、取組みの意図が伝わっていないことに気が付きました。その結果、昨年の肺炎での入院者数が多かったんです。このままではいけないと思い、リーダー会議にて「なぜゼロプロに取り組むのか？」の意図を改めて明確に説明し、それを最重要項目としました。

理事長 西川さん



その後の変化について教えてください。

「肺炎を減らすための口腔ケア」という、取組みの意味が職員全体にやっと伝わったと感じています。去年、肺炎が多かった時期の

辛さをみんな知っているのです、それを防ぐことができるのならと口腔ケアと向き合うようになったのではないのでしょうか。意義を理解したうえで取り組むことがいかに大切な、証明された出来事でしたね。

ゼロプロに参加することで目指す将来像は？

結果がついてくることでモチベーションにつながると思っているのです、それをいい循環として継続していきたいです。特養での取組みを見てグループホームやデイサービスも興味を持ち始めていて、ゼロプロステッカーを見て「あれは何だ？」となっ

ているところです。この勢いで法人全体にもいい循環を上げ、将来的には埼玉県モデルケースとして県内にも影響を与えられたいと考えています。

ゼロプロコアスタッフとして他の職員の方との関わる上で、意識していることは？

他の職員が口腔ケアをしているところを見てできていない部分を教えたり、スポンジブラシは水をよく切ってから使用する等のポイントを共有したりしています。私自身、中級まで合格したことでそれらのポイントを押さえられるようになったので、

特別養護老人ホーム ブロンさま

他の職員のみなさんが初級に合格できるように向き合っていると思っています。元々、歯科技工士として義歯を作ることだったので、利用者様の口腔ケアをする際には義歯の噛み合わせなども気にかけており、情報共有もできたらいいと考えています。

ゼロプロに取り組む中での目標は？

スキルアップは自信につながるので、上級の合格は目指したいです。自分だけができてダメなので、他の職員も初級は全員合格できるようにコアスタッフとして力にな

りたいと考えています。そして日々の口腔ケアに取り組み、ご利用者様のみなさんに最後まで美味しく食べていただけるよう、寄り添ってまいります。



介護職 木谷さん

information

ゼロプロ視察ツアーを開催しました



10月24日、大分県の若葉苑にて「誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト視察ツアー」を開催しました。若葉苑さまは、ゼロプロアワードで2年連続グランプリを受賞された施設であり、その実践の秘訣を学ぶためゼロプロ参加施設の中から8施設21名が参加されました。

当日は、若葉苑の皆さまより取り組み内容についてご説明いただいた後、施設内を見学。情報共有の仕組みやスタッフのモチベーションを高める工夫、実際の口腔ケアの実演などを拝見し、結果を出すための多くのヒントを得ることができました。参加者の皆さんは、自施設での参考にしようと熱心に写真を撮影される姿も見られました。見学後には、参加施設同士の情報交換も活発に行われ、非常に学びの多い有意義な時間となりました。施設の枠を超えて交流することの大切さを改めて感じる一日となりました。

若葉苑の皆さま、丁寧なご準備と温かいご対応を本当にありがとうございました。



編集後記

最後まで読んでくださり、ありがとうございます。今回の vol.26 では、ここ数ヶ月で取り組みが加速している施設さまに秘訣をお伺いしました。初めての視点からのお話をたくさんお伺いでき、大変興味深い内容になったのではないかと思います！個人的には、発送業務を担当しているゼロプロステッカーが活用されていて嬉しかったです。2025年10月 川谷

＼check!!／

公式 LINE、instagram、YouTube
にて情報を発信しています。

SNS



株式会社 クロスケアデンタル

編集担当：川谷

お問合せ：092-986-9600

info@crosscare-dental.jp

